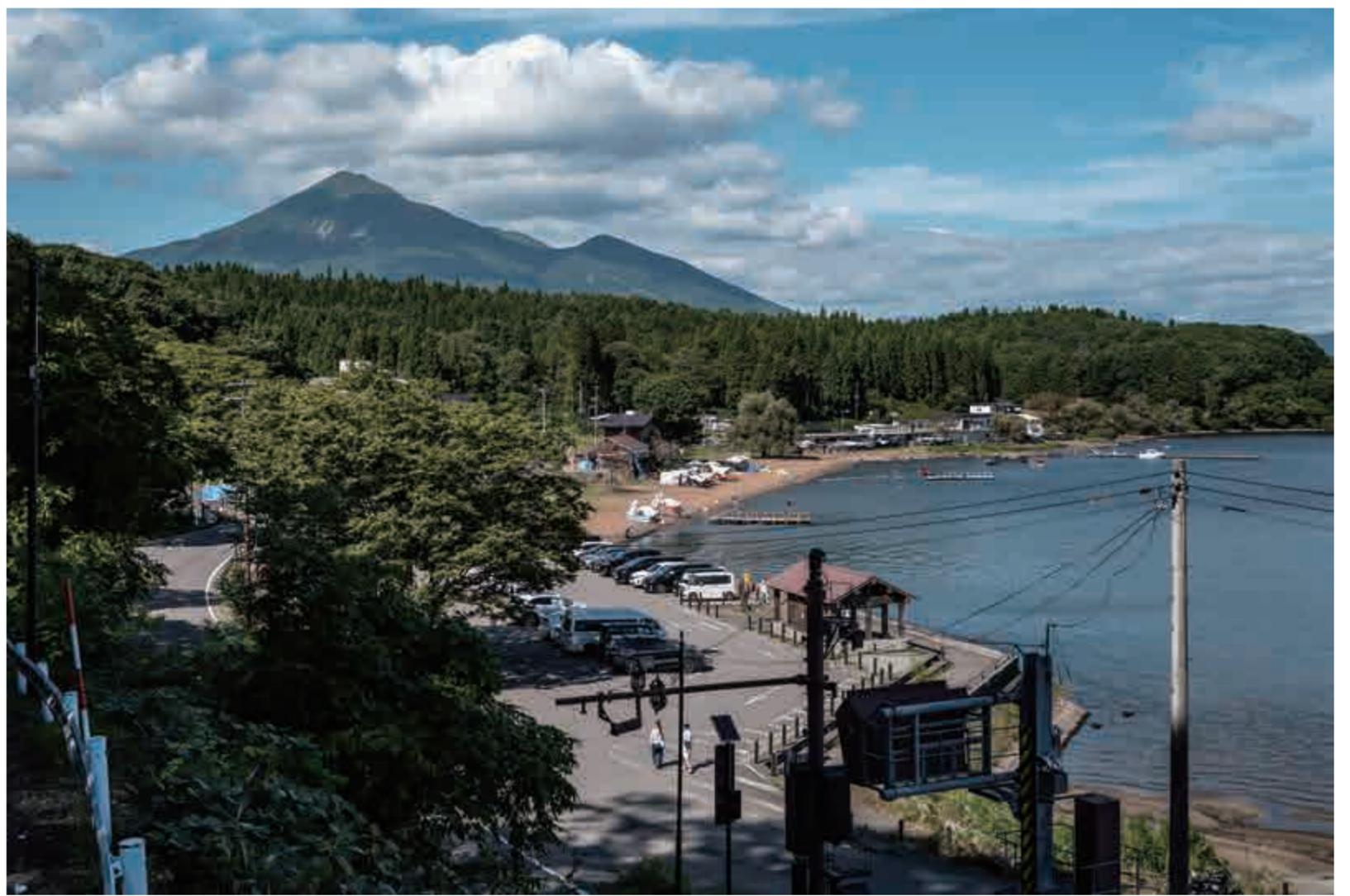


磐梯山・猪苗代湖

猪苗代湖畔 長浜より磐梯山の遠望

National
Parks
of Japan



猪苗代湖の長浜は、古くから人々の暮らしと深く結びついてきました。かつては湖上交通の要所として舟が行き交い、漁業や水運によってにぎわいを見せていました。磐梯山を望む美しい景観は、人々の心を癒やし、四季折々の自然とともに地域の歴史を育んできたのです。

時代が移り変わるなかで、長浜はその姿を少しずつ変えながらも、人々に寄り添い続けてきました。現在の長浜には、白砂の浜と静かな湖面が広がり、散策や観光、自然観察を楽しむ場として多くの人々が訪れます。かつての賑わいの記憶を受け継ぎながら、湖と人との新しい関わりが生まれています。

この美しい湖と磐梯山を含む一帯は、1950年(昭和25年)に「磐梯朝日国立公園」として指定されました。以来、長浜もその貴重な景観の一部として守られ、自然の豊かさと歴史の歩みを未来へ伝える大切な場所となっています。

出典: 会津若松市デジタルアーカイブ [画像(上)] 撮影年代 = 1933年(昭和8年)以降



特別保護地区 特別地域 普通地域 --- JR --- 私鉄 --- 高速道路 --- 観光道路